



みずばしょう

2月号



1月のイベントの様子です！



1月3日（水）に一の矢神社に初詣に行ってきました(^^♪

初詣の意味は？神社やお寺などに「初めて詣でる」ことです。
「詣でる」とは「自分の意思で行くこと」



お賽銭は5円を出すと「ご縁（5円）
がありますように」という願いをこめ
られ縁起がいいといひます(^^)



今月のフラワーアレンジメント



節分の豆まきの作法とやり方



【作法】
節分に撒くものと言えば豆ですが、この豆は炒ったものでなければならぬのをご存じですか？生の豆を使った場合、拾い忘れた豆から芽が出てしまって縁起がよくないとされるためです。豆とは「魔の目」を炒るは「射る」と詠んで、文字通り魔の目を射るために行うのが豆まきなのです。また、家族で豆まきをする場合、一家の大黒柱であるお父さんが鬼のお面を被る事がありますが、しかし本来は家長である父親は豆を撒き鬼を払う立場となります。さらに豆を撒くのは年男も良いとされ、小学校5年生がこれに当たります。



【豆まきのポイント】
豆まきの正しい方法としては、炒った豆を前日から神棚に御供えし、鬼がやってくる夜に豆まきをします。豆を撒くのは家長もしくは年男で、家の奥の部屋から順に玄関に向かって「鬼は外」で窓などから外に向かって豆を撒き、窓を閉めてからは「福は内」と言って部屋に豆を撒いていきます。

今月の一言

インフルエンザが流行っております。手洗い・うがいをしましょう。

2月 行事予定

2月下旬に下妻市の農園での苺狩りを予定しています♪



今月の特集



高齢者の肺炎

肺炎による死亡順位は、最近の優れた抗生剤の出現に関わらずこの数十年間第四位で変化がありません。それは高齢者の肺炎の死亡率が高いからです。昨日まで何となく元気ないように見えていただけの高齢者が急に呼吸困難に陥って重症肺炎と診断されることや、呼吸器の症状が全くないのに肺炎と診断されることがあります。

それは何故でしょう？ 今回、これら的高齢者の肺炎について、その特徴と注意点、症状、成り立ち、原因と予防をお話します。



特徴と注意点



特徴と注意点は、以下4点などが挙げられます。

- (1) 肺炎症状が乏しく、症状が非定期的であるため診断・治療が遅れがちになること
- (2) 高齢者肺炎には肺結核が混在していること
- (3) すでに他の病気（糖尿病や心疾患など）に罹っている人が多いので、潜在的な肺炎発症因子や増悪因子を持っている為、肺炎が急速に重症化すること
- (4) 原因として気付かない誤嚥性肺炎が多いこと

まとめ

薬物の予防としては、インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンがあります。特に、インフルエンザワクチンは高齢者の入院頻度、死亡率を減らすことが分かっていますし、これに肺炎球菌ワクチンをすると更に高齢者肺炎で亡くなる人の数が減ることが分かっています。インフルエンザワクチンは年に1回、肺炎球菌ワクチンは5年間有効ですので、ワクチンの接種をしておきましょう。

出張寿司

1月19日(金)出張寿司が行われ、お好みのねたに満足された様子です。



日々の様子



入居者状況

らいふつくば花畑 本館
空室 3

今月の花畑

今月は、大雪に見舞われ寒い日が続いていますが湿度 温度に注意して風邪をひかぬようにして下さい

